

# 日本の大学における カナダ講座・カナダ研究

## 筑波大学地域研究研究科

一、「カナダ研究概論」、「カナダ研究演習」、「カナダの地域性と風土」、「カナダの環境と資源」、「カナダの文化と社会」、「カナダの政治と経済」、「カナダ研究特講」。

二、大学院地域研究研究科「カナダ研究コース」の授業は、主として、本学とカナダ政府との協定に基づいて一九七六年よりカナダ政府が派遣する教授が担当している。派遣教授のほかに、当大学地球科学系の正井泰夫教授および東京大学の大原祐子助教授もカナダ講座をもっている。

日本では、近年、カナダに関する講座を設けたり、カナダの大学と交流する大学がふえてきた。当広報部では、いくつかの大学にアンケートを送って、それぞれの大学におけるカナダ講座や交流について紹介していただいた。左にあげた大学や学部以外にも、カナダに関する授業を取り入れたり、カナダの大学と学生や教師を交流しているところは、ほかにもあるはずであるが、今回は十分調査できなかった。なお、他の講座や英文講読の授業などでカナダを扱っている場合は、アンケートから省いた。

## アンケート項目

- 一、カナダについてどういう講座がありますか。
- 二、貴大学におけるカナダ研究・講座の生立ちや現状、今後のご計画・抱負について述べて下さい。
- 三、カナダとの教授・学生交流の有無。

三、本学地域研究科からマギル大学、ヨーク大学、トロント大学などの大学院へ留学した、あるいは留学中の学生や、本学からカナダ政府の援助で訪加した教授がいる。今後も、教授・学生の交流を一層強めていきたい。

## 関西学院大学

一、一般教養課程総合コース「カナダ」(西尾朗教授ほか)、同社会学部「人文演習—カナダの過去と現在」(西尾朗教授)、専門課程文学部「Topics on the Cultural Geography of Canada」(カナダ客員教授

と大島襄二教授)、同社会学部「理論社会学特論カナダ研究」(カナダ客員教授と竹安栄子講師)、大学院社会研究科・コミュニケーション論特殊講義「Seminar on Approaches to the Study of Canadian Society」(カナダ客員教授)。

二、一九八〇年初頭、関西学院カナダ研究会が発足し、八一年度より総合コース「カナダ」を開設した。

三、八一年度にレッドコップ教授、八二年度はヒューストン教授と、カナダから客員教授を招き、カナダ研究の課目を学部、大学院に開講している。恒久的な交流計画の実現を希望しているが、まだ具体化していない。

## 北海学園大学教養部

### カナダ研究コース

一、人文科学特殊講義(デビッド・アトキンソン客員教授・カナダ文学、宗教学)、同(筒浦明教授・地理学)、社会科学特殊講義(西沢悟教授・心理学)、外国文学(立谷憲二教授・文学)、英文講読(小池直子助教授・児童文学)、英会話(土橋文子講師・外国事情)。

二、カナダ研究コースは一九八一年四月、一講義、三ゼミで出発、のち英文講読と英会話が加わった。受講生は年間平均六百人前後。カナダの経済、法律などに関する授業の開講も見込まれている。

三、現在、レスブリッジ大学からの客員教授に負うところが大きいが、いずれはカナダへの日本学紹介の機会を作りたい。またぜひ学生の交流も実施したい。

## 津田塾大学文学部国際関係学科

一、カナダ研究(国際関係学科専門科目・地域研究)。担当・竹中豊。

二、馬場教授(現大阪大学)の在任中から続いている講座で、今年度は前期でカナダの歴史的背景、後期は主にエスニシテイの問題を扱う。

## 慶応義塾大学国際センター

一、国際センター外国研究講座のひとつとして、専門課程および大学院学生を対象とするカナダ講座(担当はカナダ政府派遣の教授)が設けられている。内容はカナダの政治、経済、歴史など。

二、一九七六年にカナダ政府の厚意でカナダ講座が寄贈された。(トルドー首相が本大学を訪れ、名誉博士号が授与された。)八三年度は、四月にラバル大学のカーティス教授による「カナダの社会と政治」および「カナダの社会・行政研究セミナー」が開講された。今後は、学部等にカナダに関するより多くの科目が設置され、またカナダ研究の教員が輩出するよう望まれる。

三、本塾大学学生団体のひとつである「国際関係会」が、以前から、ビクトリア大学の学生団体との間で学生交換計画を実施しており、大学ではビクトリア大学からの交換学生に対し、学費を免除するほか、滞在費の一部を補助している。

## 国際基督教大学教養学部

一、カナダ政府派遣教授による特殊講